

会議結果報告書

平成28年1月22日

| | |
|--------|--|
| 会議の名称 | 志木市公共施設等マネジメント検討委員会幹事会第2回会議 |
| 開催日時 | 平成27年12月22日(火) 午前11時00分～午前11時55分 |
| 開催場所 | 庁議室 |
| 出席委員 | [幹事会メンバー] (※進行者) ※ 松永政策推進課長、豊島秘書広報課長、村山人事課長、 菊池事務管理課長、田中財政課長、野口市民活動推進課長、 山崎福祉課長、園原都市計画課長、浅見建築課長、 渋谷上下水道総務課長、小日向教育総務課長、清水会計課長、 藤議会事務局次長、原田監査委員事務局次長 (計14人) |
| 欠席委員 | (計0人) |
| 説明員職氏名 | 外立政策推進課主幹 (計1人) |
| 議題 | 1 開会 2 内容 (1) 志木市公共施設等マネジメント検討委員会幹事会運営要領の一部改正について (2) 公共施設適正配置計画の策定に向けて (3) 公共施設の再配置スケジュール(案)について (4) その他 3 閉会 |
| 結果 | 1 開会 幹事長より会議の開会を告げ、議題の1から順次進める。 2 内容 (1) 志木市公共施設等マネジメント検討委員会幹事会運営 |

要領の一部改正について

(2) 公共施設適正配置計画の策定に向けて

(3) 公共施設の再配置スケジュール(案)について

事務局より、議題2 内容(1)から(3)までを説明後、質疑応答を行った。

(幹事長)

お示ししている案は、耐用年数及び市民アンケートの結果を基準に再配置の方策を選定し、更新費用の算出をしたものであり、あくまで機械的にシミュレーションを行ったものである。

(課長)

再配置計画の策定フローを確認したい。

(事務局)

今年度は、適正配置の全体像と、直近の9年間については、具体的な施設まで明記した計画を策定したいと考えている。ただし、策定にあたっては、庁舎と市民会館の方向性が大きく影響するため、動向を注視しながら慎重に進めていく予定である。

(課長)

施設の再配置(更新、改修)を計画的に進めるにも多大な費用がかかることが予想されるが、今回のシミュレーションは財政課と整合を図っているのか。

(幹事長)

今回のシミュレーションは、あくまで機械的な算出であり、今後は整合を図りながら進めていく。

(課長)

延べ床面積を削減し、市が床面積を保有しないようにするなど、見方を変えることが重要である。

(課長)

本計画は総論賛成、各論反対になる。面積を減らさなければならぬことは分かっているが、単に施設を廃止するというのではなく、どう機能を維持していくか考えるべき。公営ではなくなるが民営で継続するなど。それぞれの施設をどうするのかは、各課で考えてまとめることになる。

| | |
|-------|--|
| | <p>(幹事長)</p> <p>公共施設等マネジメント戦略については、総論であったため、意見や質問はあまり出なかったが、今後、各論の話となれば多くの意見が出てくると考える。施設を所管する担当課とも入念に調整していきたいと考えている。</p> <p>(4) その他について</p> <p>3 閉会</p> <p>幹事長が閉会を告げる。</p> |
| 事務局職員 | 外立政策推進課主幹、田中政策推進課主査、吉田政策推進課主事 |